

平成26年度事業報告

- 地域包括支援センター協力機関 アソカ園
- 在宅介護支援センター アソカ園

年間延べ相談件数(包括)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
相談件数	17	19	13	18	15	20

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13	16	7	18	23	61	240

相談内容	件数	相談内容別 利用件数
介護保険サービス	170	
同居家族の問題	13	
施設入所	13	
退院相談	8	
認知症	6	
高齢者夫婦見守り	4	
統合失調症・うつ	3	
独居高齢者見守り	2	
高齢サービス	2	
その他	19	
合計	240	

介護予防教室

介護予防教室・・・ 11回／年間 開催

介護予防教室

- ・エンディングノートについて
- ・認知症について 認知症の正しい理解と予防
- ・障がい者制度について
- ・笑いヨガ

地域ケアネットワーク推進協議会

- 各校区ごとに相談協力員を構成して、地域住民に対して公的保険・福祉サービスの紹介を行う。
 - 神郷校区・・・4回／年開催
 - 多喜浜校区・・・5回／年開催
 - 大鳥校区・・・0回／年開催
- ＜相談協力員の構成＞
- 神郷校区：23名
 - 多喜浜校区：26名
 - 大鳥校区：6名
 - ・社協支部支部長
 - ・民生児童委員校区会長及び役員
 - ・公民館長
 - ・連合老人会会長及び役員
 - ・連合自治会会長及び役員
 - ・連合婦人会会長及び役員
 - ・見守り推進員会会長及び推進委員

配食サービス利用者アセスメント

新居浜市配食サービス事業に登録している方の自宅へ訪問し、心身の状況や置かれている環境について調査をさせていただき、改めて食数を決定するためのアセスメント

- ・新規・・・10件／年間
- ・再アセスメント・・・14件／年間

主な取り組み

- 地域交流サロン「おひさま」開設、運営
(新居浜市在宅介護啓発事業)

住民同士の支え合い体制の機能が低下していることから、高齢者が住み慣れた地域で生活を送ることが出来るための“身近な安心の拠点”となれるよう開設運営を行う。

概ね週2回の運営 年間50回開催

主な取り組み 2

- 認知症の方やその家族が安心して集える
サロンづくり (新居浜市在宅介護啓発事業)

介護をしている家族の悩みや不安の軽減を図り、認知症に対する正しい知識や接し方を伝えるなど、家族や地域を支援することで、住み慣れた地域で生活を送ることできることを目的とする。

8月以降 毎月第4木曜日開催 おひさまを使用

主な取り組み 3

- 生活・介護支援サポーター養成講座

住民参加型の地域づくりを目的として、地域の皆様と一緒に、地域の活性化や地域課題について取り組むことを目的とする

20時間の講義や演習を行い、修了者には「生活・介護支援サポーター」として、地域や高齢者施設などで、高齢者が安心して在宅生活を送るために支援活動をボランティアで行う。

主な取り組み 4

- 教育機関での認知症サポーター養成講座

高齢化により、地域で認知症の方が生活することが多くなってきた中で、子供たちにも認知症についての正しい理解を持ってもらうための取り組み。(小、中学校)

1時間程度の講義や演習、介護劇などを通じて、認知症の高齢者を温かく見守ることの大切さや「応援者」としての心構えや対応方法を教える。

小学校:10校 中学校:3校で実施

主な取り組み 5

- 教育機関での認知症サポーター養成講座

高齢化により、地域で認知症の方が生活することが多くなってきた中で、子供たちにも認知症についての正しい理解を持ってもらうための取り組み。(小、中学校)

1時間程度の講義や演習、介護劇などを通じて、認知症の高齢者を温かく見守ることの大切さや「応援者」としての心構えや対応方法を教える。

小学校:10校 中学校:3校で実施

研修実績(外部研修)

- 26年度愛媛県地域包括・在宅介護支援センター
職員研修会(全3回)

- 新居浜市福祉施設協議会 職員スキルアップ職員研修会